



京都市会議員

国本ともし

人にやさしく地域に安心・安全を



市政報告 2018年 夏号

7月5日から発生した、平成30年西日本豪雨により、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

平成30年度 議会が開会

平成30年4月24日に京都市会で、本会議が開会されました。この4月議会では平成30年4月24日～平成31年3月22日までの333日間が会期として決定されました。京都市会では、定例会の回数を年1回とする「通年議会」を導入し、その上で、5月、9月、11月、2月と年4回、集中的に審議を行う定例会が開会されます。



予算特別委員会のご報告

5月23日、京都市会予算特別委員会にて、つぎの2件の補正予算を審議しました。

SNSを活用して、いじめの相談ができる仕組みづくり

また審議の結果、「SNSを活用した(いじめ)相談体制構築モデル事業」の予算が可決されました。いじめは友達、家族も含めて相談しにくいものです。今まで、京都市としても、電話相談やメール相談、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの増員などを行ってきましたが、気軽に相談できる窓口として、SNS活用したいじめ相談の実現を目指す事業です。この事業は、私たち公明党議員団が提案・推進してきたものです。

まずは本年の9月頃から京都市立高校、5000人の高校生を対象にモデル事業として開始し、その結果の検証を行い、児童・生徒の立場に立ったいじめ相談のツールとして良いものとなるよう、更に進めてまいります。



児童養護施設等退所者就学支援事業

これは、故山下様からのご寄付に基づき設置された「山下奨学基金」を活用し、児童養護施設等を退所された方のうち、ご家族からの支援が受けられないなど進学が極めて困難な方に対して、修学費を給付(月額2万円)し、自立促進のため、大学進学を後押しする事業です。



公明党市会議員団で梅小路JR新駅等を視察調査

公明党京都市会議員団で梅小路のJR新駅と中央卸売市場第一市場の整備状況の視察を行いました。JR嵯峨野線京都・丹波口間新駅は、平成27年2月に京都市とJR西日本との間で基本合意書を締結し、現在は、平成31年春の開業に向け、工事を進めています。新駅の設置により、歴史的都心地区や市外等から、梅小路公園周辺の各施設へのアクセスが格段に向上し、「京都駅西部エリア」の活性化が期待されています。

また、全国初の中央市場として現在まで、京都の食を支えてきた京都市中央卸売市場第一市場の老朽化が進んだため、リニューアル整備が進められています。予定では平成38年に整備を完了し、平成38年に開業を予定しています。



5月定例会の閉会

5月定例会では、ご報告したとおり、補正予算及びその他の議案が可決され、5月31日に閉会となりました。本年も皆様のご期待にお応えできるよう、引き続き、議会活動を行ってまいります。

市民の皆様の安心安全のために一大阪北部地震後の取り組み

京都市教育長に対して、緊急要望を提出

6月18日(月)の朝に大阪府北部地震が発生しました。震度6弱の大きな地震によって、尊い命を失われた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

今回の地震において、通学中の小学生と見守りボランティアの方が、ブロック塀の倒壊によって、亡くなるという痛ましい事故が発生しました。この事故を受け、公明党京都市会議員団として、京都市教育長に対して緊急要望書を提出いたしました。

要望内容としては、以下の3点です。

1. 学校等に設置されたブロック塀について、安全性の総点検を早急を実施するとともに、
2. その結果を公開し、速やかに具体的な対策を実行すること。
3. 府教育委員会や市長部局等と協働し、災害時に被害が発生する可能性の高い通学路等の安全対策を再度講ずること。
4. 子どもたち及び保護者に寄り添い、不安を払拭するための学校運営が行われるよう、全面的にバックアップすること。



まちづくり委員会での議論

大阪府北部地震後のまちづくり委員会においては、この度の地震に関して、今後の京都市の防災に関する質問が各委員から行われました。

特に、ブロック塀の倒壊による事故を踏まえた、安全対策について活発に議論されました。今後、京都市としても点検をはじめ様々な対策を行っていく旨の答弁がありました。



私は地震以前にあった、滋賀県甲賀市で小学生が側溝に流された事故に関して、京都市の取組について質疑を行いました。あわせて、地震対策も含めた通学路の安全対策についても行うべきと訴えました。

これに対し、建設局からは通学路の点検を学校、警察などの関係機関と連携を図りながら行い、安全確保に努めるとの答弁がありました。

京都市でもいつ大きな地震が発生するかわかりません。子どもたちの安全をはじめ、市民の皆様の安心安全につながるよう、これからも取り組んで参ります。